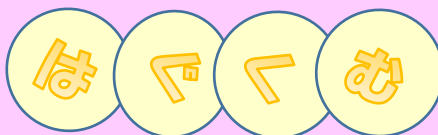


# 四日市市幼児教育センター

令和5年5月発行

## センターだより



夢と志を持ち、未来を創るよっかいちの子ども

四日市市幼児教育センターHP

連絡先 059-333-6002

### 四日市市幼児教育センター開設記念行事

### 「幼児教育推進シンポジウム」開催

去る5月13日(土)、四日市市幼児教育センター開設記念行事「幼児教育推進シンポジウム」が晴れやかに開催されました。橋北交流会館には、雨天にもかかわらず、私立・公立様々な形態の教育保育現場をはじめ、この地で子どもをはぐくみ育て未来につなげていくことを真剣に考え協力しあう関係者の皆さまが、ライブ中継をはじめいろいろな形で集いあうことができました。来賓の方には温かい励ましの言葉をいただき、パネルディスカッションでは、短い時間ではありましたが、三

重大学教育学部教授



富田先生の講話をベースに幼児教育について意見交換し、今後の行動につなげていくべき示唆を与えていただきました。

四日市市幼児教育センターは、この行事を礎に皆様の保育力向上に貢献していきたいと思っています。今後本格的に研修等実施されていきます。積極的なご活用をお持ちしております。

令和5年4月1日より「こども基本法」が施行されました。時を同じくして、四日市でも子どものための教育保育充実のために四日市市幼児教育センターが開設され不思議な縁を感じます。「子どもの人権をまもるために」学び深めていきたいと「こども基本法」に触れ思いました。

## 幼児教育アドバイザーが園を訪問します



アドバイザーがつぶやきました。

作家の遠藤周作さんは著書『生き上手 死に上手』(文春文庫)に「日常生活の中で、ふとあることに気が付いた。まるで「世紀の大発見」のような気がして日記にそっと書きつけた。それは一どんな人も、自分の人生では主役であるが、他者の人生にとって脇役である—ということだった。この<大発見>以来、周囲への不平がこぼれそうな時も「この人のワキヤク、ワキヤク」とつぶやくようになった。」と。「脇役は“主役のそばにいて、主役のためにいる”存在である。つまり、人はどこまでも主役に光を当てる使命があるということだ。」と。

保育者も子どものそばにいて、子どものためにいる存在であり、子どもが輝くための脇役に徹する日々であると思う。しかし、その保育者が主役として生き生きと保育したいと思えるその脇役としてのアドバイザーでありたい。

アドバイザー訪問は、今月から本格的に動き始める。センターの愛車「8996」号に乗り、あなたの園に。保育者が笑顔で楽しいと思う教育保育場面をサムネイルできるよう、主役に光が当たることを願う脇役として訪問したい。



チャイルド本社  
0・1・2歳児のための  
楽しい手作りおもちゃ



### 幼児教育アドバイザーおすすめ

#### 50ページより「キラキラ☆ウォーターボトル」

材料は主にペットボトルとビーズがあれば簡単に出来ます。出来上がったらボトルを揺らすことや並べることを楽しみ、中のビーズを追視する動作が自然に生まれます。4月28日Ⅲ専門研修B特別支援 特別支援教育保育春季研修「こどもの発達理解と支援」で多田先生の講演にもありましたが、子どもが楽しいと思う遊びの中で、さまざまな感覚を刺激することができることを作って遊ぶことで試してみませんか。これからの季節にぴったりです。

図書室にあります。